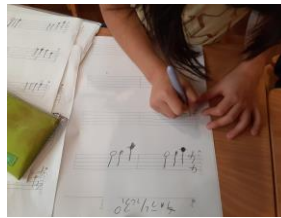


どの子もできる！

めざすは作曲家かな？♪

(山子屋保育園 5 歳児)

今年の運動会では自分で作曲したりズムで太鼓の演奏を行いました。楽しく歌う・奏でる・作る。毎日の積み重ねで絶対音感を身につけ、豊かな感性が広がっていきます。簡単な曲の書き取りやピアノを引くこともできるようになります。



運動神経の基礎を築く!!

(山子屋保育園 3 歳児)

現代は遊びの中で十分に育つ環境が少なくなり、あえて色々な動きを取り入れる工夫が必要です。逆立ちは子どもたちの自信はもちろん、脳育てに必要な血流を促し、後の学習の力にもつながっていきます。



やまごやしんぶん 2020年.12月

放課後児童育成クラブ

山子屋保育園 山の子 LIVES

川西市一庫字区田 3-1

TEL 072-795-0373



今年は残暑もさほど厳しくなく、過ごしやすい気候が例年より長く感じましたね。散歩へ出かける秋を感じる事ができましたが、季節は進み寒さが増してきました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、保育園も休園やイベントの中止がありましたが、感染予防に努めながら通常の保育へと進んでいます。

みなさまにおかれましても、過ごしにくい日々が続いているかと思いますが、園庭開放も再開いたしますので、ご参加ください。



マイクロプラスチック…

レジ袋の有料化で人々の関心が高まってきた？

山子屋では子どもの心身と脳の健やかな育ちのために食や生活習慣はもちろん、身の周りの環境にも配慮して保育を行っています。

世の中がどんどん便利快適を求めるようになり、人々はより楽な方に流れる傾向にあります。そんな中コロナ騒動で社会の機能が一時停止のような事態になり、ふと立ち止まって見ると皮肉なことにこの便利快適のはずであった社会が何ともろく、崩れやすいものかと気づかされることになりました。

当たり前のように貰っていたレジ袋が海を汚染し、海洋生物に害をもたらして人類にも多大な影響を及ぼすとなると何とかしなければとなりますよね。はじめはちょっと不便に感じていたことも慣れてしまえば当たり前となってそれが自然に感じられるのではないのでしょうか？一人ひとりが気づいて少し意識を変えることで世の中が変わります。

これはレジ袋に限ったことではなく、周りを見渡すとその様なものなんと多いことでしょう！地球汚染の原因となるマイクロプラスチックは物の使い方ひとつです。物を買う前に少し立ち止まって考えてみませんか？

大切な子どもたちの地球の未来のために、まず一人ひとりが今すぐできることを始めましょう。

今回はそんなことをテーマにしてみました・・・

自学の力でそろばん 1 級 (山の子 LIVES)

毎日積み重ねて取り組んでいるそろばん。今年度は商工会の検定にチャレンジする子もたくさんいました。10月の検定では2級3級に合格し、達成感を味わっています。級を取ることで自信をつけていくことも大切ですが、時間管理ができ、自学の習慣を身につけることが後々にも大きな力となります。自分で目標を決め、努力するように環境を整えることが大切です。

保育園・育成クラブ共に毎日の積み重ねを大切にしています。日々関わる大人が子どもの特性を踏まえ環境を整え、子ども自身で伸びる力をサポートします。少しずつの繰り返しの成長し、自信をつけることを大切にしています。

問い合わせ先

山子屋保育園

〒666-0153

川西市一庫字区田 3-1

TEL 072-795-0373

ホームページ

<https://yamagoya-kawanishi.com>

山の子 LIVES (放課後児童育成クラブ)

〒666-0105

川西市見野 2-24-9 山下見野ビル 2 階

TEL 072-794-8375

子どもの異変は化学物質が関係

私たちを取り巻く環境はこの数十年で大きく変わりました。社会、教育、インターネットやスマホの普及、中でも合成化学物質が急増しました。それと共に発達障害児も急増しています。(図1, 2) 数十年の短期間に遺伝子が集団で変異することは考えにくく環境因子の方が可能性の強いことが分かってきました。環境省は化学物質など環境の中の有害物質が子どもの成長・発達に悪影響を及ぼす可能性についてエコチル調査を実施し、子どもが健やかに成長でき、安心して子育てができる環境の実現を目指しています。子どもだけでなく大人も健康に過ごすためにはどのようなことに気を付けたらいいのでしょうか。

図1

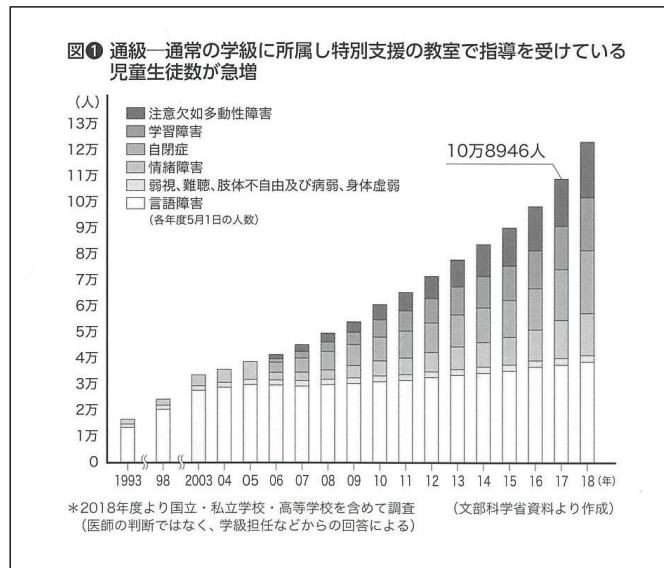


図2

母親の携帯電話で子どもの行動異常1.5倍

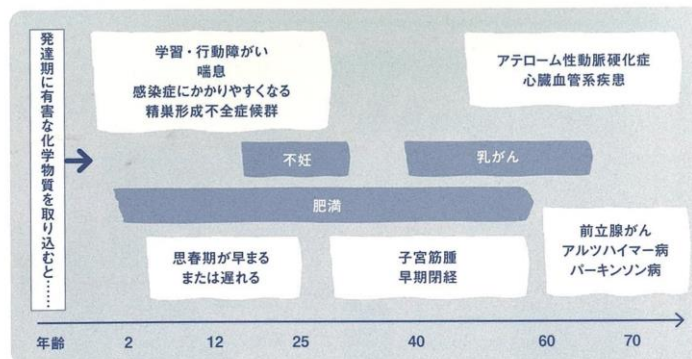
いまや、スマートフォンを手放せない人が増えていますが、子どもの脳の近くで使用するのは危険です。デンマークでおこなわれた長期調査では、妊娠中や出産後に、携帯電話を長時間使用していた母親から生まれた子どもを7歳になるまで追跡したところ、行動障害のある子どもが1.5倍も多かったことが報告されています(第23回日本臨床環境医学学会学術集会抄録76ページ)。



化学物質って何?

有害化学物質とは自然界にはない石油を原料とした合成化学物質で体内に入ると蓄積され、様々な影響を及ぼすとされています。環境ホルモン(内分泌かく乱物質)と呼ばれ、食べ物や容器から溶け出て直接体内に入るもの、洗剤、シャンプー、歯磨き粉等皮膚を通して吸収されるもの、合成香料等体の正常なホルモン作用に影響し脳、内臓、免疫系の正常な機能を阻害するものと考えられています。

図2 胎児～乳幼児期に摂取した有害な化学物質は時間差で発症につながることも



クーヨン9月号から引用

身の回りの有害化学物質から

子どもを守るためのポイント

- 子どもの近くで防水スプレーを使用しない。
- 合成洗剤より天然の洗剤を使用し、柔軟剤の使用は控える。
- 合成香料入りの製品を避ける。
- 添加物入りの加工食品を摂りすぎない。
- フッ素入りの歯磨き剤は使用しない。
- 殺虫剤の使用は控える。(虫よけスプレーは天然のものに)
- 有害物質ではないが、電磁波を子どもから遠ざけるためスマホを近づけない。

有害物質は食べ物からも体内に取り込まれますが、皮膚からも入り、血流によって全身を回ります。日常に使っているシャンプーや合成洗剤、虫よけスプレーや消臭剤などの製品も一度立ち止まって安全性を考えてみたいですね。毎日頻繁に使用していても直ちに影響が出るとは限りません。でも長時間使っていると積み重ねて脳神経の発達に影響を与えないと言い切れません。子どもたちの健やかな成長のためにできることから始めてみましょう。



マイクロプラスチックを減らすために

プレゼント
 未来の地球のため、キッチン等のスポンジは天然のセルロース素材に替えてみませんか? 抽選でかわいいセルローススポンジをプレゼント♡
 欲しい方は感想を書いて、保育園に来てくださいね♪
 締め切り 1/16

参考: 食べもの通信 2020年10月号/家庭栄養研究会